読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞▽吉田松陰・大和燦々（秋山香乃）▽ウィスキーと私（竹鶴政孝）▽親の家を片づける実践ハンドブック（主婦の友社編）▽北海道の動物たち　人と野生の距離（千嶋淳）▽満州国演義9　残夢の骸（船戸与一）▽精鋭（今野敏）▽教団X（中村文則）▽化土記（北原亞以子）▽波の音が消えるまで＜上・下＞（沢木耕太郎）▽絶唱（湊かなえ）▽晩鐘（佐藤愛子）▽後妻業（黒川博行）▽それでも前に進む（伊集院静）▽売国（真山仁）▽夢をまことに（山本兼一）▽冷蔵庫を抱きしめて（荻原浩）▽新・御宿かわせみ千春の婚礼（平岩弓枝）

■野口観光グループ50周年記念寄贈本

＜児童書＞▽ピヨピヨマーケット（工藤ノリコ）▽ピヨピヨもりのゆうえんち（工藤ノリコ）▽ビッキーとホッキー（嵐山光三郎／安西水丸）▽しきぶとんさんかけぶとんさんまくらさん（高野文子）

■みずうみ読書の家

＜一　般＞▽ブラック　オアホワイト（浅田次郎）▽イヌのホンネ（西川文三）▽キャプテンサンダーボルト（阿部和重ー伊坂幸太郎）▽64（ロクヨン）上・下（横山秀夫）▽血脈（佐伯泰英）▽神無き月十番目の夜（館嶋和一）▽大人気料理家50人のニッポンのおかずBest500（主婦の友社）▽暮しの手帖別冊　おべんとうのおかず204（暮しの手帖）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞▽砂の女（安部公房）▽楡家の人びと（北杜夫）▽動物農場（ジョージ・オーウェル　訳高畠文夫）

＜児童書＞▽おにぎり（文平山英三　絵平山和子）▽おやすみなさいおつきさま（作マーガレット・ワイズ・ブラウン　絵クレメント・ハード　訳せたていじ）

今月の1冊

「ラポラポラ」

作　ふくだゆきひろ

「ラポラポラとはアイヌの言葉で（はばたく）という意味。
森には、森を自由に飛び回る妖精やカムイがすんでいる。
森は人間だけのものではなく、この森を自由に飛び回る者たち、すべての宝物。
人間だけが、勝手に森の木を切り倒したり、ゴミを捨て汚したりして良い訳がないのです。

ピノキオ読み聞かせ会

■日　時　6月8日　14時30分

■場　所　あぶた読書の家

●開館時間
10時より16時20分まで

●5月休館日
14日・21日・28日・6月4日・11日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた　☎76-2100
みずうみ　☎75-4702

わたしのうた

短　歌　【あぶた短歌会】　四月定例会

春の日にあいたく一日千秋の
　思いで待てりその春の日を　山木　孝

萌えいづる息吹の中に立ちどまり
　春のふくらみ身に包みにし　大西芳子

一冬を耐へて生きたり春風に
　カタクリの花増えて咲きたり　北島加代

吾家に二世帯住みて楽しかり
　「行ってきます」と孫の声きく　太田　智

起き抜けにカーテン開けて外見れば
　雨に打たれて水仙開く　元田フジ子

俳　句　【あぶた俳句会】　四月定例会

野菜苗買って買ってて十数種　三瓶　修

断水の朝に届く春の水　菅原敏子

春暁の老へ一喝官太鼓　矢野知子

目の大き今に飛そう蠅生まる　小笠原　勇

春暁やオ女偲びつまどろみぬ　那須伶子

白梅の花芽嬰児の爪に似て　千葉征子

春浅し里に待ち侘ぶ母が居て　佐藤美風